

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090300514		
法人名	有限会社ほほ笑み介護支援センター		
事業所名	ほほ笑みホーム梨ノ木荘		
所在地	長野県上田市大屋239-3		
自己評価作成日	令和 4年 1月24日	評価結果市町村受理日	令和 4年11月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigvoivoCd=2090300514-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 4年10月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症を患っている方々が互いに助け合いながら、それぞれのペースで日常生活を送ることが出来るように支援しています。介護度の違い、医療的な処置が必要な方、コミュニケーションが困難な方もいらっしゃると思いますが、それぞれの個性を大切にしています。その方の希望や訴えに耳を傾け、表情をくみ取り、行動や体調の変化から、食事・排泄・睡眠・環境調整(湿度・室温)・清潔など個別の対応方法を情報共有し、統一したケアを行っています。また、ケアした結果もタイムリーに評価し、柔軟に対応方法を検討し支援に生かすようにしています。コロナ禍により利用者様・ご家族様ともに寂しい日々が続いていますが、職員は出来る限り、ご家族様との環境づくりに努め、感染対策に配慮しながら、外出支援をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは令和元年5月に旧グループホームの建物を大幅にリノベーションし開設された。運営する法人の「寝込まない、住み慣れた自宅・地域で最期まで自分らしく生活する、介護予防」という理念を基にホームのコンセプト「まるで自宅で生活しているかのように」を掲げ、地域と密着した家庭的な雰囲気の中で医療依存度の高い高齢者が穏やかに最期までその人らしい生活を送れるように看護師を手厚く配置し支援している。法人の理念と運営方針の下、同じ大屋地区に小規模多機能型居宅介護事業所とグループホームの複合施設が開設されており、その複合施設で重度化した方も当ホームに住み替えをすることができる。開設当初から医療依存度の高い利用者を受け入れており、看護師資格・准看護師資格を保持した職員が多いことから、医療機関との連携がスムーズに行われている。内科医往診時に薬剤師も来訪し服薬の指導を受け、また、歯科医師の往診も3ヶ月に1回あり、口腔ケア面でも指導を受け職員が実施している。新型コロナウイルス感染症の影響で面会については時間を限り玄関で実施し、家族の中には毎週訪れる家族もあり、本人の要望などを伝え、家族からも意見・要望を聞きホームの運営に反映している。ホームとして「ほほ笑み便り」という手紙形式の報告を毎月家族へ郵送し、日々の生活の様子を知らせている。更に、法人のホームページにはブログコーナーがあり、ホームでの様子を写真も交え伝えている。法人としての自己評価表の中に接遇・プライバシー保護のチェック項目を設け、年2回職員自らが振り返りの機会を持ち、人間としての尊厳や権利を損なうことなく、その人らしく暮らし続けることができるようなケアに専心している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほほ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほほ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほほ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほほ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほほ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				